景気動向指数

１　福岡県の景気動向指数（２０１１年７月）
（１）先行指数：４か月ぶりに５０％を上回った。
（２）一致指数：２か月連続で５０％を上回った。
（３）遅行指数：３か月連続で５０％を上回った。

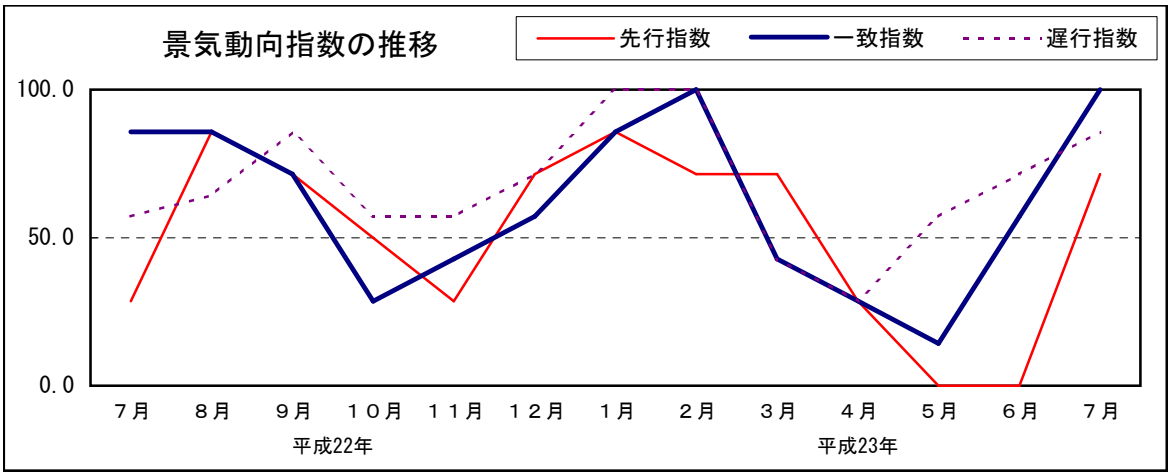
福岡県

		先行指数	一致指数	遅行指数
平成22年(2010)	７月	28.6	85.7	57.1
	８月	85.7	85.7	64.3
	９月	71.4	71.4	85.7
	10月	50.0	28.6	57.1
	11月	28.6	42.9	57.1
	12月	71.4	57.1	71.4
平成23年(2011)	１月	85.7	85.7	100.0
	２月	71.4	100.0	100.0
	３月	71.4	42.9	42.9
	４月	28.6	28.6	28.6
	５月	0.0	14.3	57.1
	６月	0.0	57.1	71.4
	７月	71.4	100.0	85.7

全国

		先行指数	一致指数	遅行指数
平成22年(2010)	７月	41.7	36.4	100.0
	８月	50.0	54.5	100.0
	９月	41.7	45.5	83.3
	10月	25.0	45.5	50.0
	11月	50.0	45.5	33.3
	12月	66.7	81.8	50.0
平成23年(2011)	１月	79.2	81.8	33.3
	２月	83.3	81.8	58.3
	３月	41.7	9.1	25.0
	４月	9.1	15.0	80.0
	５月	9.1	0.0	20.0
	６月	36.4	95.0	70.0
	７月	81.8	100.0	0.0

資料出所：福岡県調査統計課、内閣府「景気動向指数(DI)」



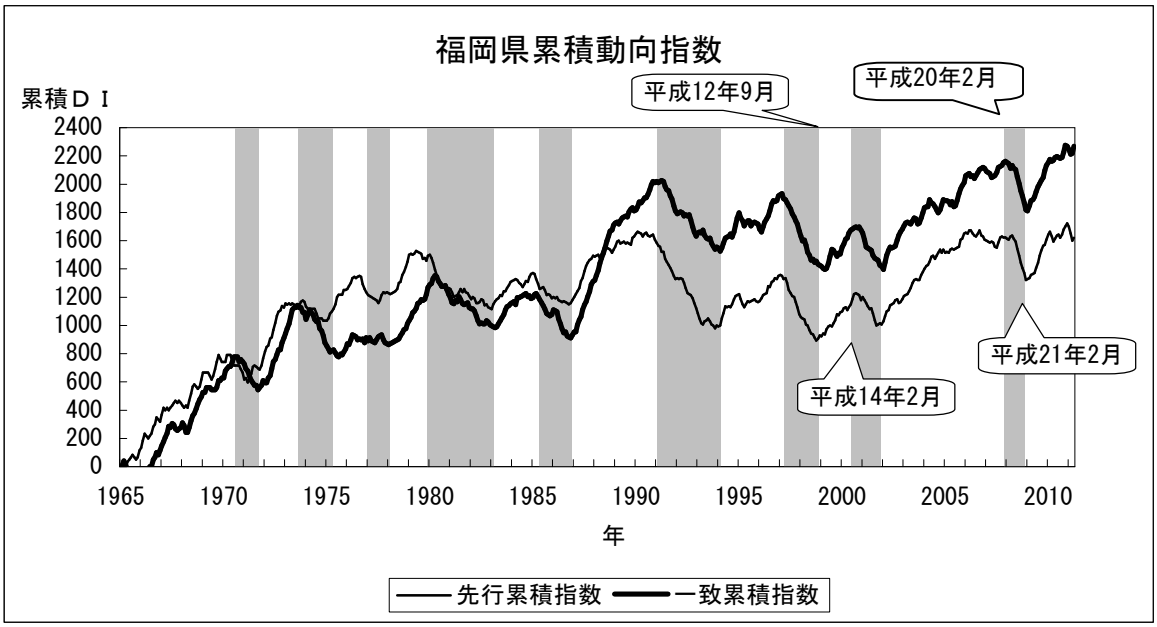
○　個別系列の変化方向

	プラスの指標（３か月前との比較）	マイナスの指標（３か月前との比較）
先行系列	△生産財生産指数 △新規求人数 △新設住宅着工床面積 △乗用車新車登録台数 △輸入通関実績	日経商品指数 最終需要財在庫率指数
一致系列	△所定外労働時間数＜製造業＞ 鉱工業生産指数＜総合＞ △電力使用量＜大口＞ 鉱工業出荷指数＜総合＞ スーパー販売額 輸出通関実績 △有効求人倍率	
遅行系列	常用雇用指数＜全産業＞ 鉱工業在庫指数＜総合＞ 消費者物価指数（福岡市） 勤労者世帯消費支出（福岡市） △法人事業税調定額 地銀貸出約定平均金利	雇用保険受給者実人員

※△は前回のマイナス指標からプラス指標になったことを、▼はプラス指標からマイナス指標になったことを示す。
※変化方向０は便宜上プラスとしている。

景気動向指数

２　福岡県の累積動向指数（１９６５年７月～２０１１年７月）



資料出所：福岡県調査統計課

（参考）累積景気動向指数（累積ＤＩ）

毎月公表している景気動向指数の月々の値を累積したものが累積景気動向指数（累積ＤＩ）です。累積（ＤＩ）はある基準年月（1965年4月）を０とし、次式により月々累積して求めています。

累積ＤＩ（当該月分）＝前月の累積ＤＩ＋（当該月のＤＩ－５０）

累積ＤＩは、基調的な動きをわかりやすく、視覚的にとらえやすいという利点をもっています。

なお、グラフのシャドウ部分は、景気の後退期をあらわしています。

福岡県の景気基準日付（景気の山、景気の谷）

谷	山	谷	拡張期間	後退期間	全循環
	昭和４５年１０月	昭和４６年１２月		１４か月	
昭和４６年１２月	昭和４８年１１月	昭和５０年　７月	２４か月	２０か月	４４か月
昭和５０年　７月	昭和５２年　３月	昭和５３年　４月	２０か月	１３か月	３３か月
昭和５３年　４月	昭和５５年　２月	昭和５８年　５月	２２か月	３９か月	６１か月
昭和５８年　５月	昭和６０年　７月	昭和６２年　２月	２６か月	１９か月	４５か月
昭和６２年　２月	平成　３年　４月	平成　６年　５月	５０か月	３７か月	８７か月
平成　６年　５月	平成　９年　６月	平成１１年　２月	３７か月	２０か月	５７か月
平成１１年　２月	平成１２年　９月	平成１４年　２月	１９か月	１７か月	３６か月
平成１４年　２月	平成２０年　２月※	平成２１年　２月※	（７２か月）	（１２か月）	（８４か月）

※平成２０年２月の景気の山と同２１年２月の景気の谷は暫定

（参考）景気基準日付

景気の拡張局面と景気の後退局面を分ける景気の転換点のことであり、景気動向指数の一致指数から作成されるヒストリカルＤＩ（ＨＤＩ）が50％を超える、もしくは切るときが景気の拡張局面と後退局面を分ける転換点となります。ＨＤＩが50％ラインを上から下に切るときが景気の「山」、下から上に切るときが景気の「谷」といわれています。

※ＨＤＩ：通常使用している一致指数から不規則変動を除去したもの